

9月の活動内容報告



ビーバー(BVS)隊

9/1 今回は「話をしよう」をテーマに活動しました。糸電話をつかって遠くの人と話してみました。

糸電話を使うのは難しく、糸をびーんと張るのも一苦労。何度も壊れましたが、どうにか話ができるようになりました。慣れたところで公園に出



掛けて伝言ゲーム。糸を絡めて3、4人と話をするスカウトもいました。すばらしい発想ですね。

9/15 武蔵小金井駅から「はけの小道」も通って武蔵野公園に行ってきました。

最初に新しい仲間の入隊式を行いました。その

後は川に入ってエビを見つけ、草むらではいろんな種類のバッタを捕まえました。トンボやコウロギも発見、秋の始まりを感じました。おやつも秋の物としてぶどう、みかんとあけび。あけびはめったに食べないかな？

午後は山を駆け上り、野原でゲームをしました。もっと遊びたかったけれど、捕まえた虫たちにもさようならして帰路につきました。



9/29 9月はスカウトの日ということで最初に奉仕活動として、いつも使っているもみじ山公園でごみ拾いをしました。きれいな公園だけど、意識してみるとたばこの吸い殻やペットボトル、空き缶はたくさん落ちていました。これからも気持ちよく使っていきましょう。そのあとは木の実（どんぐり）を使った工作。

それぞれ思い思いに作りました。時間の都合でみんなの作品の見せ合いっこはできなかったのが残念でした。おうちで飾ってもらえたでしょうか。



カブ(CS)隊

9/1 スカウトに日に因んで、9月は世界環境プログラム月間としました。まず、環境を良く、自然を守って、動植物を知って、

ゴミについて考えるプログラム。

もみじ山公園の生き物を探した後、3R(リデュース、リユース、リサイクル)や環境マークについて知って、みんなで話し合いました。環境マークを家やお店で探ることが宿題になりました。



また午後には、キャンプの報告会として保護者会が行われました。

9/15 9月のスカウトの日にちなんだ世界環境プログラム月間の2回目組集会でした。前回のゴミやリサイクルの集会に続き、自然/環境保護について考えました。もみじ山公園でのカラーハ

ンティングに続き、室内プロで、先ず家の周りの生き物を出し合って意識し、絶滅危惧種の生物を挙げ どうしたら守れるか 自分たちで出来る事などを話し合いました。世界スカウト環境バッジの課目である災害時の家族の集合場所と用意しておく必要なもののお話もしました。

9/29 9月の世界環境プログラム 月間の締めくくりとしたハイキング。

行徳近郊緑地にお邪魔しました。先ずは干潟を清掃。ペットボトルや そのキャップ、発泡スチロールのかけらや何故か多い 100 円ライター。ゴミ袋いっぱいになりました。その後、干潟



の生物 野鳥(主にカワウ)観察をしてみんなでスケッチ。意外に多い外来種などちゃんと名前も教わって、最後に発表して締めくくりました。現地では行徳野鳥観察舎友の会が運営する野鳥病院も見学し、会の皆さんの活動にも感銘を受けました。来年には観察舎が復活する予定だそうです。みんな世界スカウト環境バッジを付けて、環境に優しいスカウトとしてこれからも活動していきます。



ボーイ(BS)隊

9/1 K 上班の WSJ 報告会の後、班集会を実施しました。2 級章取得に向けて班ごとに、手旗の練習とスカウトペースの練習をしました。“スカウトペース”とは目的地まで急ぐときに 40 歩歩いて 40 歩走ることを繰り返す移動方法です。

9/23 中野駅南口での秋分の日国旗掲揚奉仕と班集会を実施しました。AさんとMさんが掲揚手をつとめました。秋分の日の中野駅前には程よい風が吹き、大きい国旗が青空にたなびき



ました。班集会は前回に引き続き、手旗の練習を重点的に行いました。前は基本形を覚えるだけでしたが、今回はカナ文字を練習しました。後半は班会議を行い 10 月キャンプのプログラム内容について、「自分達が身に着きたい技能は何か？」というテーマで話し合いました。

9/29 武蔵五日市でハイキングを行いました。リーダーから出された課題に挑戦しつつ、今熊山を經由し刈寄山山頂まで往復をしまし

た。雨予報でしたが、幸いに好い天気で、気持ちよく山を歩けました。スカウトペースで歩く、コンパスを用いて目的地を確認するなど、今まで班集会で練習してきた成果を発揮しました。



ベンチャー(VS)隊

9/1 BS 隊の班集会へ奉仕参加しました。冒頭K君から WSJ の報告会が

ありました。月末に予定されているハイキングの計画支援を主に行いました。

9/23 武蔵五日市の刈寄山に29日に予定しているBS隊ハイキングの下見に行きました。

9/29 BS隊ハイキング支援を行いました。予定していたコースの下見が十分ではなかったために、一部ゴールまでたどり着かない場面がありました。支援の方法についても反省し、今後の今の活動に役立てていきたいと思いました。

9月のスカウト進歩情報

BVS :	A. T. くん	小枝章5本目
	B. K. くん	小枝章5本目
	R. T. くん	小枝章4本目
	K. Y. くん	小枝章1、2本目
	T. I. くん	小枝章1本目
CS	N. T. くん	チャレンジ章「救急博士」 「音楽家」「料理家」
	H. O. さん	チャレンジ章「料理家」
	M. M. さん	チャレンジ章「料理家」

とびっくす

Kリーダー「ウッドクラフトコース」修了

指導者（リーダー）は、指導者として活動するために、日本連盟が定める各種講習会・研修に参加しています。保護者の方にも活動理解のために参加をお願いしている「ボーイスカウト講習会」を入門編として、以下のような研修体系となっています。

ボーイスカウト講習会

【隊指導者訓練】

**ウッドバッジ研修所
スカウトコース**
(3泊4日:テント泊)
スカウト教育に関する基本的な内容を習得する。

**ウッドバッジ研修所
課程別研修**
(1日型,8時間)
・BVS、CS、BS及びVSの課程別コース。
・隊運営に関する基本的な方法を習得する。

ウッドバッジ実修所
・第一教程(課題研究)、第二教程(プログラムトレーニング:3泊4日テント泊)、第三教程(実務訓練)で構成されている。
・当該部門の指導者として、プログラム推進能力を高めることについて研修を深める。
・BVS、CS、BS及びVSの課程別コース。

スキルトレーニング(スカウト技能の再確認)

【団指導者訓練】

団委員研修所
(2泊3日:宿舍泊)
団指導者としての任務を理解し、団の管理と運営の能力を高める。

団委員実修所
・第一教程(課題研究)、第二教程(マネジメントトレーニング:2泊3日宿舍泊)、第三教程(実務訓練)で構成されている。
・団指導者として、自団の問題解決や将来に向かっての施策を推進する能力を高めることについて研修を深める。

その他の研修(定型外訓練)

ウッドクラフトコースはウッドバッジ実修所を修了した者を対象として新たに設けられた訓練で、6日間の野営生活を通じてスカウティングの本質的な楽しさについて再確認するとともに、高度なスカウト技能の研修の場として位置付けられ、スカウト技能を活用したプログラムの開発能力を身につけることを目的としたものです。

今回、ビーバー隊のK副長が、「ウッドクラフトコース 第1期」に参加し、6日間の野営生活を経て、修了者として認定されました。Kリーダーの益々の活躍が期待されます。



ちよつとほつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

9月、10月と2か月連続で稀に見る大型台風に見舞われた関東地方。多くの地域で風や川の氾濫による被害がありました。中野区内では大きな被害は聞きませんでした。皆さまのご家族、ご親戚は大丈夫でしたでしょうか。こういう時こそ「そなえよつねに」です。10月の台風19号の時は、9月の千葉県内の被害状況が記憶に新しかったので、台風接近に備えて、スーパーなどでパンやカップラーメンが売り切れになっていました。食料以外で停電や断水に備えたいのは懐中電灯と電池、水などです。スカウトの家庭ではキャンプのためにヘッドライトやランタンが普通にあります。その他にもキャンプグッズは限られた便利さ（一定の不便さ）の中で生活を支えるものです。災害にも対応できません。キャンプ生活ができるということは、多少の停電や断水はいつものキャンプ生活の状況と同じように生活できるということです。キャンプスキルを上達させ、いつでも困らない生き抜く力を身に付けていきましょう。



リーダーの活動

- 9/1 団会議
- 9/4 地区 BS 講習会スタッフ会議
- 9/4 WB 研修所所員会議
- 9/7 地区円卓会議
- 9/8 CS ハイキング下見
- 9/16 BS ハイキング下見
- 9/17 東連「ニッパ」委員会
- 9/20 地区委員会
- 9/22 地区BVSラリー下見
- 9/22 WB 研修所所員会議
- 9/27 WB 研修所所員会議
- 9/28 地区 BS 講習会スタッフ会議
- 9/28 地区コミッショナー会議
- 9/29 団会議

- * 活動の写真はホームページにアップされています。
- * 個人情報保護の為パスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上アクセスして下さい。
<http://members2.jcom.home.ne.jp/bsn8/>

スカウト豆知識

「女子ボーイスカウトとガールスカウト」

女子がボーイスカウトに入隊していると言うと「女の子だからガールスカウト？」と言われることがありますが、そうではありません。活動の基本に「やくそく」と「おきて」があり、よき社会人となることを目的としているのはボーイスカウトと同じですが、ガールスカウトは別個の組織です。ベーデン＝パウエル卿（B=P）がスカウト運動を提唱したのは約110年前。その頃、男女が一緒に活動することはなく、スカウトは男子のみを対象としていました。しかし、女子たちも同じような理念で活動したいと思うようになり、B=P 卿の妹アグネス・ベーデン＝パウエルがガールガイドを発足させました。その活動がアメリカにわたりガールスカウトが始まりました。今でも国によってはガールガイドと呼ばれています。基本的にはガールスカウトも B=P 卿を創始者ととらえています。日本では1920年から活動が始まりました。地域により状況は違いますが、きょうだい活動と言えます。ボーイスカウトの祭典・ジャンボリーにはガールスカウトも参加します。活動に大きな差はありません。

男女平等の世の中になるに従い、ボーイスカウトは女子を受け入れるようになりました（団の方針として女子受け入れをしていない団も存在します）。しかしガールスカウトは、ボーイスカウトの目標「よき社会人の育成」に加え「自立した女性の育成」という目標も持っているため、受け入れの対象は現在でも女子のみです。なお、ボーイスカウト日本連盟の英語名からはすでに Boy の語はなくなり、Scout Association of Japan という名前になっています。